



次代を担う中国の成長産業

～『電池を制する者がEVを制す』EV電池編～

2021年3月3日

EV電池で世界を席巻する中国

「電池を制する者がEV（電気自動車）を制す」と言われるほどEVにおける電池の重要性は極めて高い。また、EV電池市場は今後10年で18倍以上に拡大すると予測されており【図表1】、この分野でシェアを獲得できるメーカーは長期的に企業価値を高めることが想定される。

電池を製造するために必要な部品には、正極材、負極材、セパレーター、電解液などがあり、中国政府は過去10年にわたり国を挙げて主要部品の国産化に努めてきた。その結果、国内にサプライチェーンが形成されたことで、性能面だけでなく価格面でも競争力の高いEV電池の製造が可能となり、中国は「世界の電池工場」としての地位を着実に築いている。

勝者が見えてきたEV電池市場

中国政府はここ数年、補助金政策の見直しや外資の参入規制緩和などにより、量から質への政策転換を促している。それにより、EVメーカーの淘汰とともにEV電池メーカーの淘汰も進展し、勝者が見えてきている。競争促進により、中国のCATLや韓国のLG化学など、技術力や投資力、生産力の高い大手企業が市場シェアを伸ばす状況が続いている【図表2】。

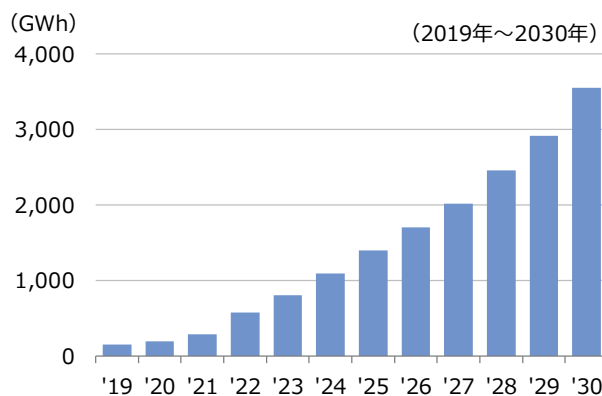
進化が続く中国産EV電池

EV電池の種類には、コストは高いが航続距離が長いニッケル・マンガン・コバルト（NMC）や航続距離は伸びないが低コストかつ安全なリン酸鉄リチウム（LFP）など、多種多様なものがある。コストや性能、安全性の面で完璧なものは未だ登場していないものの、高い性能を可能にするCATLの「CTP（Cell to Pack）」と呼ばれる設計手法や、性能と安全性が両立したBYDの「ブレードバッテリー」などを見れば、中国のEV電池メーカーが最先端の技術を有していることが分かる。

安全性と性能の両面から次世代電池の本命とされる「全固体電池」についても、2020年代後半に量産化を実現する中国企業が現れると期待されている。こうした中、中国の新興EVメーカーである蔚来汽車（NIO）は2021年1月に開催した年次発表会「NIO Day 2021」で固体電池を搭載した新モデルを発表し、バッテリー業界を驚かせた。詳細は不明とされているが、液体と固体を組み合わせた半固体電池であるとの見方が有力とされている。

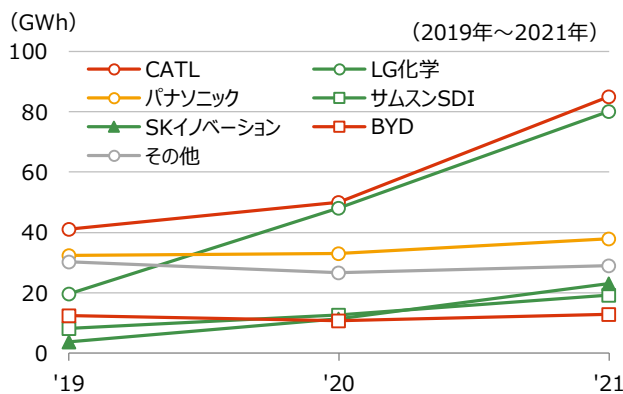
このような事例は、中国EV電池メーカーの技術進歩の速さを示しており、今後もその動向から目が離せない。

図表1 EV電池の需要予測（出荷ベース）



※2021年以降はSNEリサーチによる予測
(出所) SNEリサーチより大和アセット作成

図表2 各メーカーのEV電池出荷量



※2021年はSNEリサーチによる予測
(出所) SNEリサーチより大和アセット作成

投資信託のご購入に際し、お客さまにご理解いただきたいこと

お客さまが投資信託をご購入する際には、以下の2つの注意点を十分ご理解いただいた上で、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧いただき、ご自身の判断で投資に関する最終決定をなさるようお願いいたします。

注意点① お客さまにご負担いただく費用について

	種類	料率	費用の内容	ご負担いただく費用金額のイメージ (金額は左記の料率の上限で計算しています)
直接的にご負担いただく費用	購入時手数料	0~3.3% (税込)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。	基準価額10,000円の時に100万口を購入される場合、 最大33,000円 をご負担いただきます。
	信託財産留保額	0~0.5%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられます。	基準価額10,000円の時に100万口を換金される場合、 最大5,000円 をご負担いただきます。
信託財産で間接的にご負担いただく費用	運用管理費用 (信託報酬)	年率 0~1.98% (税込)	投資信託の運用・管理費用として、販売会社、委託会社、受託会社の三者が、信託財産の中から受け取る報酬です。	基準価額10,000円の時に100万口を保有される場合、 最大1日あたり約55円 をご負担いただきます。
	その他の費用・手数料		監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません)	

※費用の種類や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なります。上記費用の料率は大和アセットマネジメントが運用する一般的な投資信託の料率を表示しております。ファンド・オブ・ファンズでは、ファンドが投資対象とする投資信託の運用管理費用等を別途ご負担いただきます。また投資信託によっては、運用実績に応じた報酬や換金手数料をご負担いただく場合があります。

※手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。※投資信託により異なりますので、くわしくは販売会社にお問い合わせください。また、詳細につきましては「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

注意点② 投資信託のリスクについて

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。投資信託が投資する有価証券等によりリスクの要因は異なりますので、お申込みにあたっては、投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。